

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 平成 30 年 10 月 2 日 (火) 午後 7 時～8 時 30 分
場 所 中央二丁目会館 (中央二丁目町内会)
参加者数 41 人



主な意見等

参加者 道を歩いてたまに気が付くのですが、防犯カメラは、ふじみ野市はどのくらい設置されていますか。事件があるとテレビなどでよく出てきますが、増やしていても良いのではないかと思います。

市 長 現在設置されているのは、市内のごく一部です。国の補助金などを利用しながら、商店街には犯罪の抑止力として設置に協力していただいています。子供たちの通学路にも設定したらどうか、などご意見もいただいています。あまりたくさん増やしていくとプライバシーの問題なども生じてきます。最近は機械も安く手軽に設置できるようになってきました。公園に自動販売機を設置するときには、自販機設置業者の負担で設置してもらったりしています。公園などの公共的な場所から、設置していくよう検討していきます。

参加者 道路にかぶさるような大きな木がありますが、個人ではなかなか持ち主に注意しづらくて困っています。市役所の方でそういう木を切ってもらうようなことはできないでしょうか。また、市役所をお願いして対応してもらったとして、誰が指摘したのか分かってしま

うのではないかと心配です。

市長　ご近所同士とはいえ、言いづらいことと思います。基本的には、市役所でいきなり行って切ることはできませんが、ご指摘いただいた場所には、市でお宅にお願いに行く対応をさせていただきます。誰から指摘があったのでお願いにきました、ということは決して伝わらないように対応します。

参加者　今年から自治会館の電気・ガス・水道代などを負担していただけることになりありがたいと思っています。旧大井地区の「公民館分館」は、昔から負担が発生しない仕組みになっていたようで、旧上福岡地区とは大きく違っていました。私は、未来政策会議に参加して公民館のあり方について検討するメンバーをさせていただきました。そのときに、多摩市や熊谷市まで視察に行き、公民館分館をはじめとした集会施設はいろいろなあり方がある、ということを知りました。ふじみ野市は、せめて市内で一本化する必要があると思います。多摩市では公民館を統廃合して、残った建物を公民館ではなく、コミュニティ施設として再利用していたりもしていたので、ぜひ工夫して検討して行ってほしいです。

市長　合併した町で、地域に身近な集会施設の取り扱いが違っていたことについて、行政が踏み込んで統一することができませんでした。しかし、課題の解決に向けて取り組まなければ、いつまでたっても変わらないので、2年ほど前から、各自治組織の皆さんと一緒に機会をとらえて検討を重ねてきました。

公民館分館は、町内会に一つずつではないので自由に利用できませんが、利用料は発生しない仕組みでした。将来的に旧上福岡エリアで会館を建て替える時の費用負担などの問題は、非常に大きくなると考えられます。また、自治組織への加入率が下がっている状況では、もっと難しくなることが想像できます。どちらの方式が良い、悪いということではなく、自治会の施設と分館の運営の仕組みの違いは、それぞれの地域の歴史の中で成り立っている仕組みの違いだと思います。

今後は、旧大井方式、旧上福岡方式ということではなく、ふじみ野方式として制度を検討していきたいと考えています。現在は制度の検討期間ではありますが、今発生している不公平感をなくすため

に、旧上福岡エリアの集会所の費用を行政で負担することにしました。ちなみに三芳町は、行政連絡区ごとに施設があり、これらすべて公設で運営しているようです。

もう一つ、大きなマンションには建物の中に集会施設を持っているところがあり、そういうところは共益費で運営していると思いますが、その運営費を市が補助するのか、という問題も発生してきます。この問題はふじみ野市として大きな問題の一つと考えていますので、なんとか道筋をつけていきたいと思います。

参加者 自宅の前が通学路なのですが、標識もなく、朝は車の通りも多くてスピードを出していて危ないと感じます。30キロに規制するなどしていただけないでしょうか。保育園もできたので、エリア全体に規制をかけることはできませんか。

市長 まずは、路面表示や注意看板などでの対応ができるか検討します。また、ゾーン30の設定についても、警察など関係機関と協議して安全確保に向けて検討します。

参加者 元気・健康マイレージ事業やぴんしゃん体操など、とても良い取り組みだと思っています。これからは、障がい者など、そういう健康づくりの取り組みに参加できない人もいると思うので、イエローリボン運動のような障がいのある人に対する取り組みがあると良いと思います。健康づくりは健常者だけのものではないと思います。次の段階では障がい者も一緒に取り組める宣言のようなものがあると良いのではないのでしょうか。

市長 視覚障がい者の方に小学校の授業で、目の不自由な方に対する接し方を教えていただいたり、子供たちに対する地道な啓発なども行っていますが、街ぐるみで取り組みができるようになると素晴らしいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

参加者 ごみ減量を進める会に参加しています。今月号の市報でもごみの少ない市県内1位、ということを取り上げていただいて、うれしく思っています。これを続けていくことが大切だと思いますので、例えば本庁舎の垂れ幕などで、ごみ減量の達成などをアピールしても良いと思います。

もう一点、合併したときに上福岡駅の近くの踏切が立体化すると思っていたのですが、その辺はどうなっていますか。

市長 立体化については、正直なところ大変難しい状況です。合併直前の頃には、地下道を作ろうという構想もありました。県道の踏切は道幅が狭いので、地下道を作るためには周辺の商店街などを大きくえぐり取って用地を確保しなければならないということが判明しました。合併前は、それでも地下化をするということで話を進めてきました。そのための費用は、当時で60億円と言われていました。それだけの費用をかけて、商店街をえぐり取って地下道を作る、ということの費用対効果を検討してきたところ、結局立ち消えになってしまいました。立体化についてはあまりにも莫大な費用がかかる上に、国からの補助金も得られにくい状況なので、現在は難しい状況です。

参加者 民生委員をやっています。社会福祉協議会で、一人暮らしの高齢者への見守り活動をしています。そんな中、一人暮らしの高齢者が2日間発見できなかったことがありました。その人は仕事をしていたため、見守り対象になっていませんでした。市としてもそういう見守り活動に対して助成制度など、ぜひ積極的に取り組んでいただきたいと思います。

市長 社会福祉協議会は市と一緒にあってさまざまに取り組んでおり、民生委員の皆さんの見守り活動など、ありがたいと考えています。あまり新聞等で公表されませんが、高齢者に限らず、現役世代の一人暮らしで急病になってしまう、ということもありました。この対策については力をいれていきたいと思います。宅配業者や牛乳配達、新聞配達などの皆さんの協力も得たりしながら、異変を察知できるようなネットワークづくりにも取り組みたいと思います。

参加者 公園のトイレの夜間の取り扱いについては、旧大井地区と上福岡地区で違うようです。旧上福岡地域は夜間も施錠していませんが、旧大井地域の方は施錠されています。都市公園について、同じ市内でも取り扱いが違うようですが、どうなっていますか。安全対策の面もあると理解していますが、旧上福岡地区の緑地公園は暗いのに施錠されていなかったりもします。

市長 施錠するかしないか、というのはその地域の皆さんの意見を尊重してきた面もあると思います。犯罪に悪用されないように、とか、いたずら対策のために施錠をしている公園があります。旧大井地区はすべて施錠している、という統一的なルールにはなっていません。今のところ地域の方から施錠してほしいとか施錠をやめてほしいといった声はありませんが、公園のある地域の実情に応じて対応していきます。

参加者 多目的グラウンドは、利用者が休憩する場所がありません。立木もなく、雷が発生しても逃げる場所がない状況です。植林して木陰を作ることなど検討していただけないですか。

市長 多目的グラウンドのある地域は市街化調整区域の規制を受けていて、構造物が一切設置できず、小さな日よけすら設置できない状況です。大会などの際には、テントを張ったり対応していただいています。弓道場やテニスコートの整備に合わせて低木を植えたり、対応していきます。ご指摘ありがとうございます。

参加者 フクトピアの管理は委託しているのでしょうか。展示ルームの備品が壊れているもの多くて「これは動かさないで」と貼ってあったりして困っています。また、今年から注意書きの貼り紙がやたらと多くなって、注意が細かくなっています。備品については何とか対応していただきたいと思います。

市長 フクトピアは現在、指定管理者という制度で管理しています。施設管理から中身の事業まで、民間事業者へ委託していて、小さな修繕は業者が行いますが、大きな改造などの工事は市が直接行っています。机などの備品が壊れていたり、ということについては、対応していきます。